

環境経営を推進し、持続可能な社会の構築に貢献します。



九州電力株式会社
代表取締役社長

真部利應

お客様の快適で環境にやさしい毎日のために

当社は、1951年の創立以来50年以上にわたり、エネルギー事業者の使命として、お客様の日々の生活、そして地域社会の発展に欠くことのできない電気を安定してお届けしてまいりました。

エネルギーを取り巻く環境は、中国やインドなどアジア地域の経済成長を中心とした世界的なエネルギー需要の増大に伴う資源確保の困難化など大きく変化していくものと考えられます。

さらに、地球温暖化問題への対応として、温室効果ガスの排出抑制に向けた取組みが世界的に加速していくことが予想され、我が国においても、低炭素社会の実現に向けた様々な施策の検討が進められています。

こうした状況においても、安定した電力・エネルギーをしっかりとお届けすることを通じ、お客様の快適で環境にやさしい毎日に貢献するという使命を果たし続けていくため、当社は、昨年3月、長期的な経営の方向性を示す「長期経営ビジョン」及び当面の施策の方向性を示す「中期経営方針」（2009～2011年度）を策定いたしました。

当社は、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランド・メッセージとする「九州電力の思い」のもと、当社の事業活動に関わるすべての方々に満足いただけるよう、長期経営ビジョン及び中期経営方針に基づいた取組みを着実に推進してまいります。

九州電力の思い

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九州電力の思いです。

この思いの実現に向けて、私たちは次の4つに挑戦しつづけます。

- 1 地球にやさしいエネルギーをいつまでも、しっかりと
- 2 「なるほど」と実感していただくために
- 3 九州とともに。そしてアジア、世界へ
- 4 語り合う中から、答えを見出し、行動を

低炭素社会づくりへの貢献

地球温暖化対策については、21世紀半ばまでに温室効果ガス排出量の大幅な削減が必要と言われていますが、このような「低炭素社会」を実現していくためには、エネルギーを供給する側と使用する側が一体となって取組みを進めていくことがとても重要です。

このため、エネルギー事業者である私どもが果たすべき責任と役割は大きいと感じており、社会全体の温室効果ガスの排出抑制に貢献するため、お客様や地域社会の皆さまとともに考えながら、低炭素社会に向けた取組みを着実に進めていきたいと考えています。

具体的には、電気の供給面では、エネルギーセキュリティ面、地球温暖化対策面、経済性などで総合的に優れる

原子力を電源の中核と位置付け、安全確保を第一に着実に推進するとともに、太陽光や風力などの再生可能エネルギーを積極的に開発・導入し、電力量構成比で非化石エネルギー比率60%程度を目指していきます。

さらに、低炭素化に資する研究・開発や火力発電の高効率化についても引き続き取り組んでいくことで、発電の一層の低炭素化・高効率化をこれまで以上に進めていきます。

電気の使用面では、省エネルギー効果の高いエコキュートを中心としたオール電化の普及促進や、電気自動車の導入拡大など、電化の推進を通じて、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

なお、これらの取組みにより、「2008～2012年度平均の販売電力量あたりのCO₂排出量を1990年度実績比で20%程度低減する」という自主目標を確実に達成していきたいと考えています。

生物多様性に配慮した事業運営

地球上における生物の多様性（生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性）は、水や食料の供給、気候の安定性など人類の活動に不可欠な様々な自然の恵みを与えており、人類のみならず、すべての生物の生存基盤となっています。

しかし、人類の活動による土地改変等により、生物多様性の喪失が引き起こされ、生態系の劣化が進んでいると言われており、国連が定めた「生物多様性年」でもある本年10月には、名古屋で生物多様性条約締約国会議（COP10）の開催が予定されるなど、生物多様性に関する具体的な行動を求める社会的な要請が高まりつつあります。

私どもは、電力設備の設置や運用など、事業活動全般にわたり自然の恵みを享受していることを深く認識しており、従来から、生物多様性に配慮した事業運営に努めてまいりました。

自然環境への影響の少ない設備形成、地球温暖化防止をはじめとした地球規模での環境配慮、地域の特性に応じた環境保全に努めることはもちろんのこと、九州ふるさとの森づくりや次世代層への環境教育などの社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

私どもの事業基盤である九州は、豊かな自然環境に恵まれています。この豊かな自然環境を将来世代に引き継いでいくことも、私どもの大切な使命と捉えており、自然の恵みに感謝しながら、持続可能な事業活動を今後も引き続き展開してまいります。

本レポートをお読みの皆さまへ

本レポートは、九州電力グループ一体となった環境経営の推進状況や、2009年度の具体的な取組状況を紹介したもので、今回で14回目の発行を迎えました。

当社は、環境コミュニケーションを通じて、私どもの活動をより多くの皆さまに知っていただくことが、地域の皆さまとの協働による取組みを推進する上でとても重要であると考えており、本レポートは、皆さまとの重要なコミュニケーションツールの一つと位置付けております。

今後とも、皆さまからのご意見・ご感想を参考に、環境活動の更なる充実に努めていきたいと考えておりますので、是非ご一読いただき、忌憚のないご意見・ご感想をお寄せください。お待ちしております。

2010年6月

